

みえ卓球レポート

第1号

発行所：三重県卓球協会審判部

2021年10月6日 配信

この『みえ卓球レポート』は、日本卓球ルールの改訂情報やルールの解説を目的として作成しています。この通信を見てさらなる疑問などが出てきましたら、三重県卓球協会までメールを頂ければと思います。

令和3年10月1日より卓球のルールの大きな改訂が行われます。その大きな改訂は、カラーラバーの導入です。新色として、『ピンク』『バイオレット』『グリーン』『ブルー』の4色が追加されます。この新色ラバーのため、現行の『赤と黒』の組み合わせが、『黒面＋黒以外のラバー』ということになります。各メーカーからカラフルなラバーがこれからたくさん出てきます。ぜひ、いろいろな色の組み合わせを試してみたいものです。

2021年（令和3年）10月1日改定・実施の日本卓球ルール（改定概要）	
2020年1月1日の国際卓球連盟（ITTF）のルール改定のうち 2021年10月1日施行のルール改定を受け、国内ルールの改定を行います。	
（注）波線のアンダーラインは国際卓球連盟が2020年に改定し2021年10月1日に施行するものであることを示す。	
1. 条文	
第1章 基本ルール	
1.4 ラケット	
1.4.6	ラケット本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。
2. 公布年月日 2021年（令和3年）9月15日	
3. 改定年月日 2021年（令和3年）10月1日	

ルール改正

※ラバーの色の変遷について

1983年 同色異質ラバーの組み合わせ→禁止
ラケット両面は異色にすること

例 黒粘着ラバーと黒アンチラバーの組み合わせは使用不可

※両面黒色で、性質の全く異なるラバーを貼り、クルクル反転させながらプレーする選手が増加。そのプレイスタイルの結果、観客は見ていても何が起きているかがわからず、面白くない試合となってしまった。（卓球の人气が下がる原因）
→この状況を改善するためのルール改正が必要と判断された。

1984年 ルール施行

1986年 黒、もしくは赤とラバーの色が規定された。

以後、約37年間赤と黒の組み合わせが続き、2021年10月にカラーラバーが復活することになる。（卓球の人气拡大に影響あるかも？新たなルール改正にも期待？）